

平成29年度 第4回芦別市行政改革推進委員会
ワークショップ（グループ討議）協議結果

テーマ：「子ども・子育て・結婚・出産までの主な事業 ～人生の出来事（ライフイベント）編～」について

保育園

- 企業内保育所設置に対する支援及び子育てタクシー制度の創設

市立芦別病院に院内保育所があるように、働きやすい環境づくりのため、企業内保育所の設置に対する支援を検討すべきである。また、支援策の一つとして、子育てタクシーも有効と思われる。

子育て支援

- 子育て施策の充実

先進地の事例では、ふるさと納税を「子育て施策」に特化して使用し、子育てに係る経済的負担を軽減することで、人口が増加しているまちもあることから、子育て施策の一点に集中させることも検討すべきである。

一時預かり事業

- 一時預かり事業の充実

一時預かり事業については、急な預かりに対応できるようにするため、有資格者に限らず、シルバー世代や専業主婦の方などに協力を求めるなど、マンパワーの確保に努めていただきたい。

また、つばさ保育園の子育て支援センター広場では、子どもを連れた母親同士が交流しているが、初対面の場合もあるので、母親同士を仲介する保育士のサポートをお願いしたい。このことによって、市の預かり事業等に頼らず、母親同士のネットワークの中で、お互いをサポートする関係を築くことができると思われる。

婚活イベント

- 婚活事業の充実

婚活事業については、結婚の価値観が多様化している中、シル

バー世代が世話役となって、若い方を結びつけるような結婚支援の取り組みを検討すべきである。

母子保健事業【妊婦健診】

○ 妊婦健診に係る公費助成の見直し

妊婦健診時には、必ず超音波検査が実施されているが、その検査に対する公費助成の回数が限られているため、自己負担が発生しないよう助成回数を見直しを検討すべきである。

教育

○ 学力向上対策の充実

小学校では、3年生から漢字検定に係る検定料の助成制度があるが、個々の学習意欲を高め、全体的な学力の向上につなげるため、1年生からの助成を検討願いたい。

出生祝品・結婚祝品

○ 出生祝品・結婚祝品の見直し

少子化対策や移住定住対策としての効果が実際に発揮されているのかが不明なため、政策目的に沿ってどのような効果が期待されるのかを改めて検証のうえ、商品券による給付方法や金額を含めて、必要に応じた見直しを検討いただきたい。

その他

○ その他

芦別に興味を持って移り住む人を増やすために、芦別の魅力を伝える風景写真、利用可能な行政サービスや参加可能な市民活動等の情報を、SNS等を利用して効果的に発信・周知していくなどの取組を進めていく必要がある。

市内の民間賃貸住宅等の家賃が高いため、現に市外から通勤している実態があることから、人口減少を抑制する移住定住対策として、家賃に対する補助制度などを検討いただきたい。